

国分寺市行政改革推進委員会会議録（第4回）

日 時：令和7年8月28日（火）19時～

開催場所：市役所401会議室・オンライン

出席委員：藤井委員長、倉地委員、高橋委員、岩井委員、川島委員、松岡委員、今井委員

欠席委員：細野副委員長

傍 聴 者：

1 協議事項

- ・令和7年度国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）マネジメントシート及び総括について
- ・答申について

2 その他

<会議録>

藤井委員長：令和7年度第4回国分寺市行政改革推進委員会を始めます。本日は、令和7年度国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）マネジメントシート及び総括についてです。事務局より説明をお願いします。

事務局：今年度については、令和6年度評価と併せて全4年間の計画期間満了に伴う総括についても、委員の皆さまから御意見を頂戴したいと考えていますのでどうぞよろしくお願いいたします。なお、これからの説明に当たり、便宜的ではありますが国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略を「市総合戦略」、国分寺市総合ビジョンを「総合ビジョン」と呼ばせていただきますのであらかじめ御了承願います。

まずは、市総合戦略の位置付け等について御説明します。平成26年に制定されたまち・ひと・しごと創生法では、地方公共団体における総合戦略の策定は努力義務とされていますが、本市については国のまち・ひと・しごと創生総合戦略の主旨を踏まえ、少子高齢化また人口減少への対応、地方創生に資する取組など定めた計画として策定しているところです。

その目的や内容が、市の長期総合計画である総合ビジョンと密接に関係していることから、効果的・効率的な施策の推進を図るため第2期から両者を統合して、一体的に進捗管理を行うものであります。

市総合戦略では、地方創生の方向性として3つの基本目標を定めています。これらの目標達成のための具体的な取組については、総合ビジョンで掲げる施策の取組方針から設定しています。

続いて、「国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）マネジメントシートの見方について」をご覧くださいと思います。マネジメントシートの構成は基本目標ごとに「数値目標」、「具体的な取組と重要業績評価指標」、「基本目標に対する総合評価」、「地方創生への効果」、「行政改革推進委員会からの意見」となっています。

基本目標の達成度を測るための数値目標は、総合ビジョンのまちづくりの指標から関連性が高いものを選択しています。例えば基本目標1においては、「まちの魅力の発掘・発信により交流人口を多く獲得し定住化を促進」とありますが、数値目標として総合ビジョン施策11のまちづくりの指標休日の滞在人口率と、施策23のまちづくりの指標の市内の駅の1日平均の乗車人員・乗降人員数を設定しています。同様に、具体的な取組とKPIについても、総合ビジョンの各施策の取組方針と目指す姿の実現のため、中心事業の数値目標から設定しています。これらの指標等に用いている目標値や実績値、達成率についてはマネジメントシートと一致しています。

そして各指標は、達成率に応じてABCの3段階評価をしています。目標に対する達成率が80%以上のAまたはB評価の数値目標と、KPIの割合から基本目標に対する総合評価を算出し、地方創生への効果にあてはめて全体の効果を判定しているものになります。例えば、基本目標1のシート右下をご覧くださいと、基本目標に対する総合評価とありますが、評価を判定した指標は全部で19あります。これが総合評価の分母の値となっています。その中でAまたはB評価の数が13であったため全体の割合は割り算して68.4%となっています。これを機械的に地方創生への評価にあてはめると、進捗している指標の割合が5割を超え7割以下に該当するため、3の地方創生に効果があったの評価となっています。この評価を踏まえて、資料2枚目から4枚目は各基本目標ということで、全部で3つのシートがありますが、この内の行政改革推進委員会からの意見について、御意見を頂戴できればと存じます。

最後に、これまでの総括と資料をお付けしています。こちらは市総合戦略全体に対する総括資料となります。各マネジメントシートの評価を踏まえて、指標の達成状況に触れると共に計画の趣旨である人口減少、また少子化への対応を念頭に行政改革推進委員会の総括として案文を作成しています。こちらについても御意見を頂戴できればと存じます。資料の説明は以上となります。

藤井委員長：まずは基本目標1について御意見等がありますか。

高橋委員：前回までの議論の中で、施策マネジメントシート全体を通して一つのキーワードが「国分寺市の魅力」だと思っており、歴史や文化にフォーカスされていた印象です。これからのことを考えると魅力というのは、子育てのしやすさや、商店街があるとか、幅広い分野にわたると思います。第2次国分寺市総合ビジョンでも、そういった広がりを持ったものになっているので、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略でもまちの魅力の発信について継続して掲げられるのであれば、指標の選び方も御留意いただければと思います。

事務局：第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略では、まちへの愛着や誇りを醸成し新たな人の流れを呼び込むというような基本目標を設定しています。御意見のとおり、国分寺市の魅力は歴史とか自然だけでなく、住みやすさや利便性を魅力に感じて、国分寺市にお住まいになる方や、お越しになる方がいらっしゃるの、そういったところを踏まえて第3期の総合戦略は策定しております。

高橋委員：KPIもその幅をもって設定されているという理解でよろしいですか。

事務局：KPIも歴史に関するものが入っていますが、それ以外にも「シティブロモーション」で、Xでのフォロワー数を設定する等、歴史に関わらず様々なものをKPIに設定しています。

高橋委員：議論の中で子育てのしやすさといったところもあり、それが国分寺市の魅力として重要なファクターでないかという思いますので、その点をどうされるかはお任せします。

事務局：子育ての部分は、第3期の総合戦略で基本目標の1つ目に特化した形で記載を設定しています。委員の御意見のとおり内容は少し見直しさせていただいています。

藤井委員長：その他御意見等がありますか。なければ、続いて、基本目標2について御意見等がありますか。

高橋委員：意見案の3行目で、『「必要な子育て支援サービスを利用できていると感じる保護者の割合」は、いずれも目標が達成できなかったものの』という言葉があり、続いて『計画期間の途中から上昇が見られたことから』とつなげていますが、順序を逆にされたらいかがでしょうか。

事務局：御意見ありがとうございます。修正いたします。

藤井委員長：その他御意見等がありますか。なければ、続いて、基本目標3について御意見等がありますか。

KPIについて、例えば、施策29の防犯のKPIは変えているのでしょうか。Cが多い印象のため確認したいと思います。

事務局：いくつかKPIを変えているところがあります。例えば特殊詐欺被害件数は次期からKPIに設定しておりません。理由としましては、市の取組で改善することが難しいようなものは、第2次総合ビジョン策定の際に指標に設定するのを控えたところがあります。

防犯まちづくり認定者数と防犯カメラ設置台数については第3期も引き続き指標として設定していますが、メール配信登録数は、別の指標を設定しております。

なお、施策29の防犯と施策30の消費生活は、第2次総合ビジョンでは統合して、「くらしの安全」という施策名に変わり、この施策の中からKPIをピックアップしています。

川島委員：評価が分かりやすいと思えました。先日までのマネジメントシートでは、目標に対して実績が何%と、数字で見えていたためどれくらいの割合なのかが分からなかったのですが、A、B、C評価になると分かりやすいと思えました。ただ、Cが続いているにも関わらず目標はどんどん上がっていくのはミスマッチだと思えますが、数字の見直しはしないのでしょうか。

事務局：例えば、防犯カメラの設置台数についてはCがずっと続いている現状を踏まえ、見直しを図って将来的な数値を改善しているところです。その他のものでも重複して第3期に臨むものについては、現状に即して数値を変えているところでございます。

川島委員：今年度Cのものは来年度Bになって、2年後にはAになってというようにより良い評価を目指して進めるということによりよろしいでしょうか。

事務局：御指摘のとおりです。実態に合わせて適正に見直しをいたします。

藤井委員長：その他御意見等がありますか。

岩井委員：施策28で危機管理体制の向上とありますが、実績を見ると0が続いていますので、これについても精査するべきだと思います。

事務局：現実的に達成できるものを位置付けてこそ計画だと思えますので、そのように目標を定めていきます。

藤井委員長：その他御意見等がありますか。

川島委員：基本目標が1、2、3とあって、これが国分寺市の大きな柱という意味かと理解しています。それぞれの総合評価の全体割合が出ると思いますが、割合が高いものについては市民の方の関心度が高い、また、前年度よりもより多くの施策が上手くいった、という見方をしてよろしいでしょうか。

事務局：御認識のとおりです。「全体割合が高い＝地方創生への効果があった」という見え方になります。一方で、数字に表われない市民の方が、どれだけ参画しているか、満足しているかという点では、各施策で数値設定しているもので差が出てしまう実態はある可能性がございますので、お含みおきいただければと思います。

川島委員：KPIの高いものはこれからも目標設定を高くしていくが、低いものに対しては少し下げていくといった考え方も良いと思いました。

事務局：現状を踏まえて、第3期では現実合った数値設定を行い、実現性がより高いものをピックアップして、再構成しているところです。

藤井委員長：その他御意見等がありますか。なければ、続いて、総括の意見案について御意見等ありますか。

倉知委員：内容に関しては異論ありませんが、『一方、令和5年～』の文章は今後人口が減っていく可能性があるということを言っているのでしょうか。合計特殊出生率が1.11という数字が低いことは分かりますが、良く読まないに分からないと思います。

事務局：御指摘いただいた点を踏まえ、誰が見ても分かりやすい表記、また、合計特殊出生率が1.11になる関連性をもう少し簡潔に、文章を変えていきたいと思います。

藤井委員長：その他御意見等がありますか。なければ、続いて答申の鑑について、事務局から説明をお願いします。

事務局：今回の委員会では、人口減少の進行や、少子高齢化による地域社会の担い手不足、新型コロナウイルスの感染症拡大、物価高騰による市民生活への影響、国際情勢の変化等による社会経済の不確実性、といった全体的な社会環境を踏まえるとともに、多様化する市民ニーズや、施策においても分野横断的な視点を意識して多角的に御議論いただいたことから、前段ではこの点を踏まえた内容としています。

後段では、国分寺市が市内外の方々から選ばれる魅力的なまちとなるよう、将来を見据えたまちづくりに期待し、別紙のとおり答申するといった内容としています。

鑑について、御意見等いただければと思いますので御協議をお願いします。

藤井委員長：前段ではどのような視点を持って、この委員会が判断していたのかあったほうが良いという意見があり、後段では「魅力的なまち」を入れたほうが良いという意見はありましたので、それぞれ盛り込んでいただいています。何か御意見等がありますか。

川島委員：「戦略的」といった言葉を入れたほうが良いという意見があったかと思いますが、それは将来を見据えたという言葉に置換えたのでしょうか。

事務局：お見込みのとおり表現を置換えてお示ししておりますが、最後の部分に「戦略」という言葉を付け加えて修正したいと思います。

藤井委員長：その他御意見等がありますか。よろしいでしょうか。

事務局：それではいただいた御意見を基に、鑑を修正いたします。また、これまで御協議いただいた各マネジメントシートと総括の意見案の修正も併せて行い、全ての修正作業が完了次第、メールにて共有させていただきます。

藤井委員長：ありがとうございます。最後に事務局からお願いします。

事務局：改めて4日間にわたり御協議いただき、ありがとうございました。本委員会については任期が2年となっていますので、今回で任期満了となります。

藤井委員長：全体を通して何か御質問等ありますでしょうか。なければ、第4回国分寺市行政改革推

進委員会を終了いたします。